

若手研究者コラムリレー

小田 啓之（おだ ひろゆき）



プロフィール

森ノ宮医療大学医療技術学部鍼灸学科スポーツ特修コース 講師
日本体育・スポーツ・健康学会の専門領域：運動生理学、バイオメカニクス

大阪府堺市出身

2004年 大阪医専 アスレティックトレーナー学科 卒業
2006年 鹿屋体育大学 体育学部 体育・スポーツ課程 卒業
2008年 鹿屋体育大学大学院 体育学研究科 修士課程 修了
2019年 大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科 博士後期課程 修了
2008-2021年 履正社医療スポーツ専門学校 講師
2023年より現職
E-mail: hiroyuki_oda@morinomiya-u.ac.jp



チームID用の写真



専門学校教員時代に学生たちと

わたしの研究

傷害の再受傷のメカニクスを探る

私はこれまで、アスレティックトレーナーとしてスポーツ選手のサポートを行ってきました。その中で、「ヒトが運動中にどのようにして怪我をするのか？怪我した後に十分に回復しているのか？リハビリのプログラムは今がベストなのか？」という疑問を持っていました。近年では生体イメージング技術が発達しておりますので、このような疑問を解決できるのではないかと考え、トレーナーの立場で自分自身が感じた疑問の解明に迫る研究を行ってきました。

その疑問解明に向けて対象をアキレス腱断裂に絞りに、アキレス腱断裂経験者のアキレス腱の材質の特徴やダイナミックな身体運動中のアキレス腱の振る舞いや筋活動の特徴について研究を行いました。その結果、断裂後に再建したアキレス腱は材質が十分に回復していない事や運動中に断裂脚特有のアキレス腱の振る舞いや筋活動が存在することが分かりました。「**復帰しているのだから十分に回復しているだろう**」と考えていた私にとってこの結果は、衝撃を受けるとともに競技復帰に向けたプログラムを作成するにあたり考えさせられました。詳細が知りたい方は、以下の論文を一読していただくと幸いです。

これからもスポーツ現場のトレーナーにとって有益な情報を提供できればいいと考えています。

わたしの渾身の論文・書籍・記事



Oda H, Sano K, Kunimasa Y, Komi PV, Ishikawa M. Neuromechanical Modulation of the Achilles Tendon During Bilateral Hopping in Patients with Unilateral Achilles Tendon Rupture, Over 1 Year After Surgical Repair. Sports Med. 2017 Jun;47(6):1221-1230

(なんでも帳)

先程も述べましたが、私は大学で教育・研究活動を行いながらアスレティックトレーナーとしてスポーツ現場での選手サポートも行っています。アスレティックトレーナーとしての活動は15年以上にもなりますが、経験だけが長くなり、まだまだ試行錯誤（悪戦苦闘？）の連続です。毎回のサポートでは、選手たちから色々と教えてもらうことが多く、「選手をサポートできて？私がサポートされて？」と自分自身の力の無さを感じ、打ちのめされることも多々あります。まだまだ勉強（修行）しなければいけないことが多いです。

しかし、そんな辛いことばかりではありません。サポートした選手たちが試合で自己ベストを更新したり、勝った後に「ありがとうございました」と笑顔で報告したりしてくれると「選手の役に立ったのかもしれない」と肌で感じます。**選手たちの喜ぶ姿と「ありがとうございました」**はトレーナーにとって打ちのめされた心を蘇らせてくれる魔法の薬なのかもしれません。だからトレーナーを辞められません。また最近では、「怪我が多くて競技を辞めようかと思っていましたが、サポートのおかげで最近怪我をしなくなり、競技が楽しくなってきたのでもう少し続けようと思います。」と嬉しそうに言ってくれた選手がいます。これは、本当にトレーナー冥利に尽きます。これからも、選手たちから色々なことを教えてもらい、選手たちから魔法の薬をもらいながらトレーナーを続けていこうと思います。

日本体育・スポーツ・健康学会
若手の会からのお知らせ

2018年8月に日本体育・スポーツ・健康学会若手の会が発足しました！→ [メーリングリスト登録フォーム](https://forms.gle/zGMPdPq5fY3kcB5q2)：

<https://forms.gle/zGMPdPq5fY3kcB5q2>

学会大会、研究会等の開催や報告者募集に関する案内、公募や助成金情報等に関する情報提供を配信予定です。皆様からも、メーリングリストで周知したい情報がありましたら、下記までご連絡ください。

taikugakkaiwakate@gmail.com

